

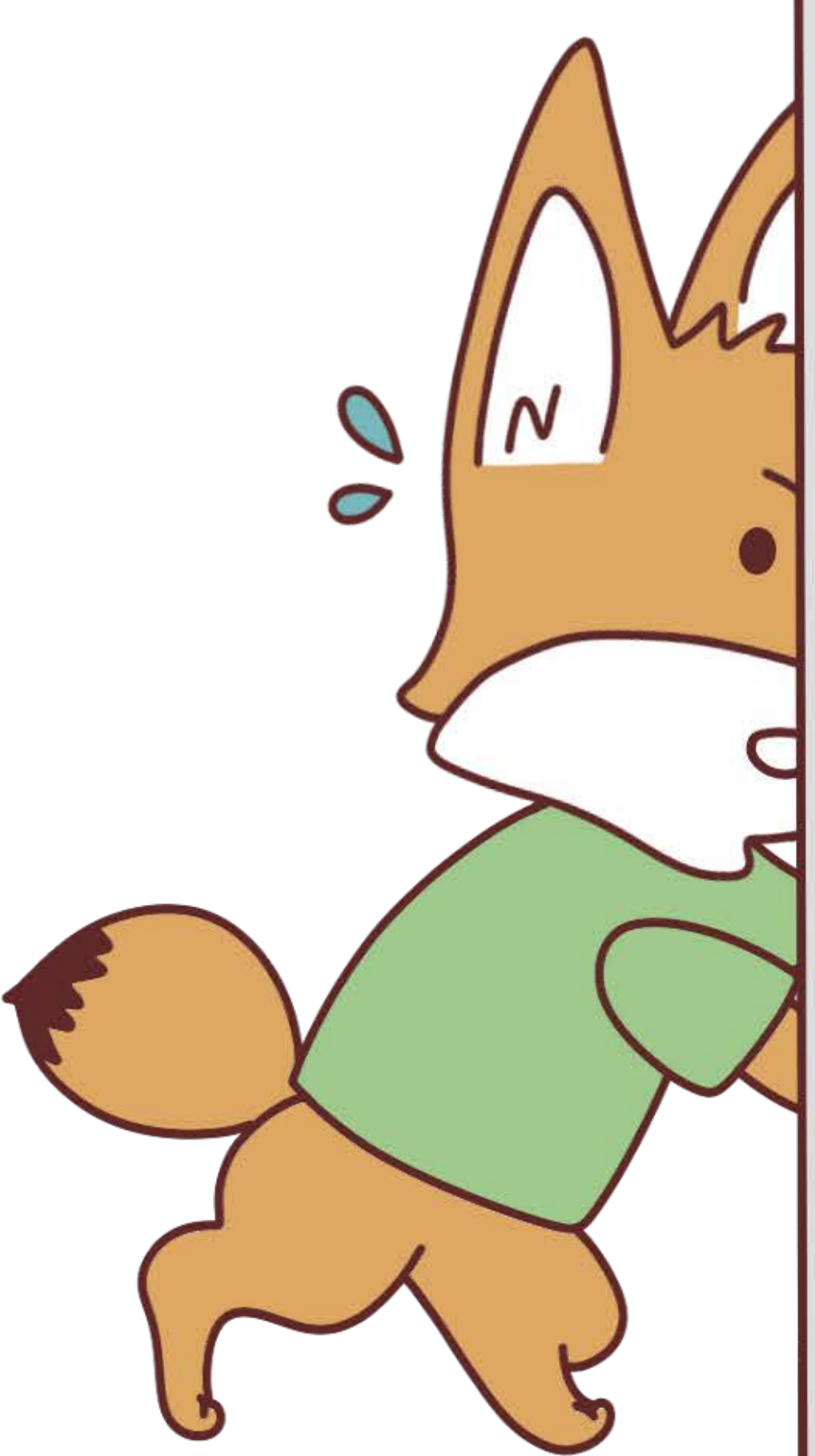


知らぬ間に  
決めた『普通』が  
壁となる

この句をよんだきっかけ

私がこの句を読んだきっかけ  
職場などで新しい人に出会ったとき、関わる人の  
見た目（顔立ち、立ちふるまい、服装など）で「こ  
の人はこういう人だろう」と勝手に思い込んでし  
まうことがあります。しかし、実際に関わって  
みると、その印象はガラッと変わり、関わる前か  
ら偏見をもっていたことに気づきました。

並  
普通



ペンネーム 勝ちあき



# 気づかずに 自分に言ってた 「きつと無理」

この句きよんだきつかけ

会社の研修で、「どうせムリ」といった思い込みもアンコンだと知り、ビックリ。新しい仕事に取り組む人を募集しているときなど、興味はあっても「きつと自分にはムリ」と思ってたあきらめていることが多々あり、これもアンコンだったのかと気付きました。アンコンなんて自分はしてないよ、と思っている人も、自分へのこんなアンコンは気づかないうちに行っているかも…  
と思ひ、この作品を書きました。

ペンネーム みつば

自分の  
きつと無理…!





# 普通って 誰にとつての 普通なの？

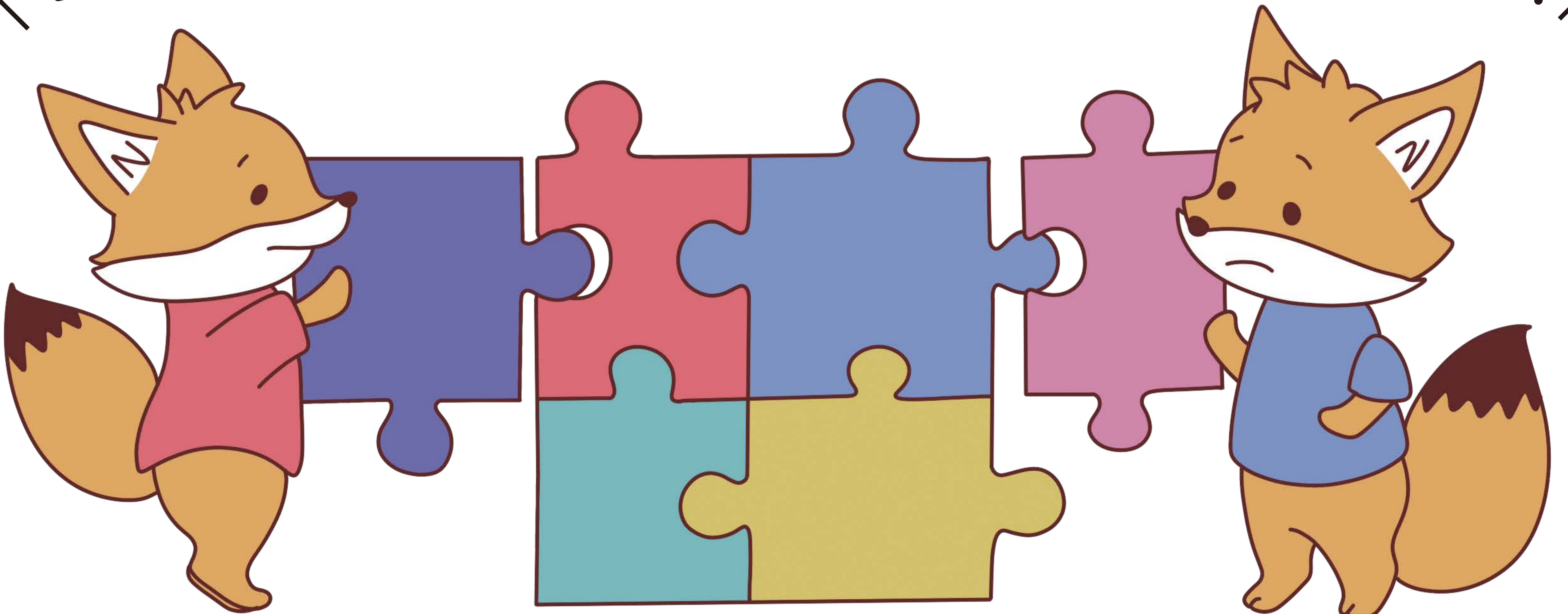
この句きよんだきっかけ

自分にとっては常識だとか当たり前だと思っていることに対し、他人がそうでなかった時に「普通さあ、こういう時はこうしない？」ってイライラすることがある。それを理解してくれる多数派にいただけであることに気付いた。例えば、規定の書式があつて、項目に沿って入力するだけで良いのに、カスタマイズしてくる。私にとっては余計なことを感じるが、その人にとっては見やすいもの、使いやすいものになっているのかもしれない。

ペンネーム みい

「普通はヨシな感じかな?!」

「普通ってなんだろうね!」

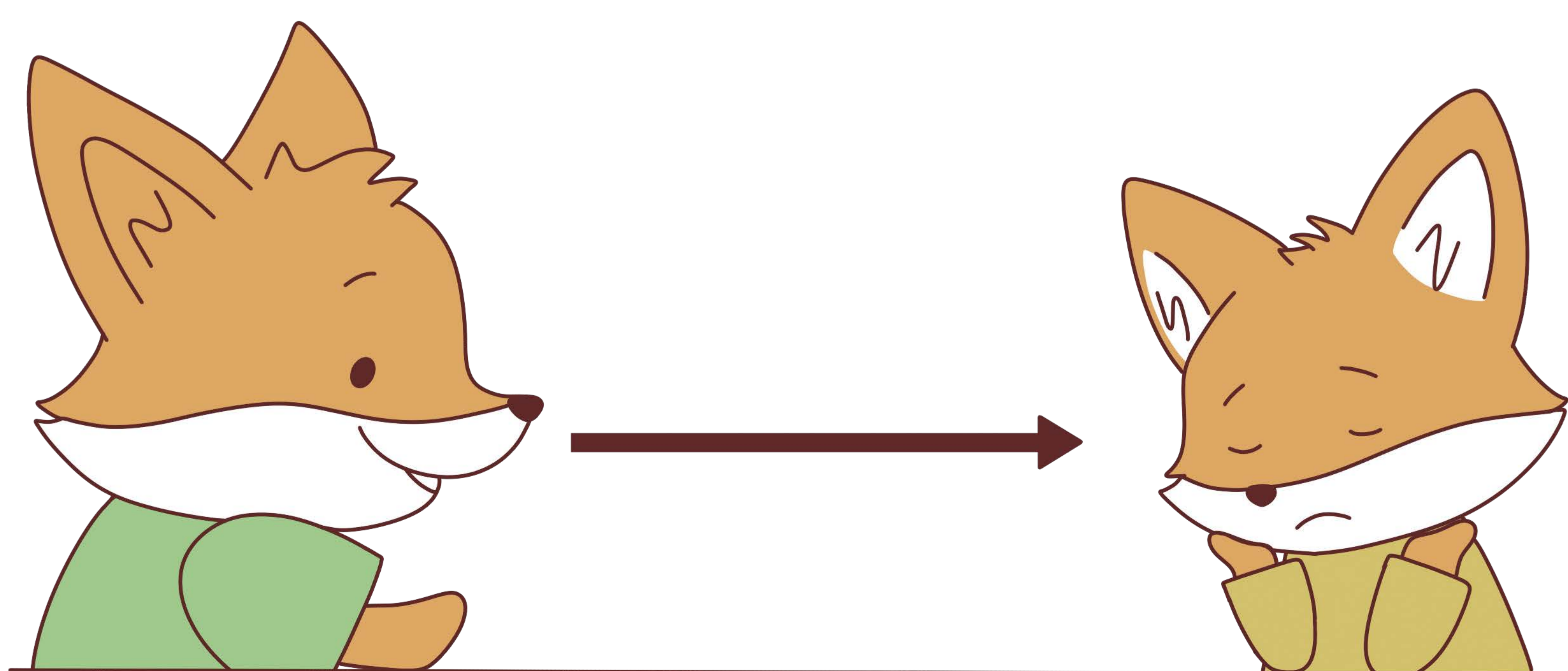


特別賞

# 無意識に いった言葉が 傷つける

この句をよんだきっかけ  
アンコンシヤスバイアスは、気づき  
にくいからこそ繰り返されてしま  
います。自己認識を高め、意識的に偏  
見をなくしていく努力が必要です。  
相手の心傷をつけます。

ペンネーム モト



特別賞

ひと呼吸

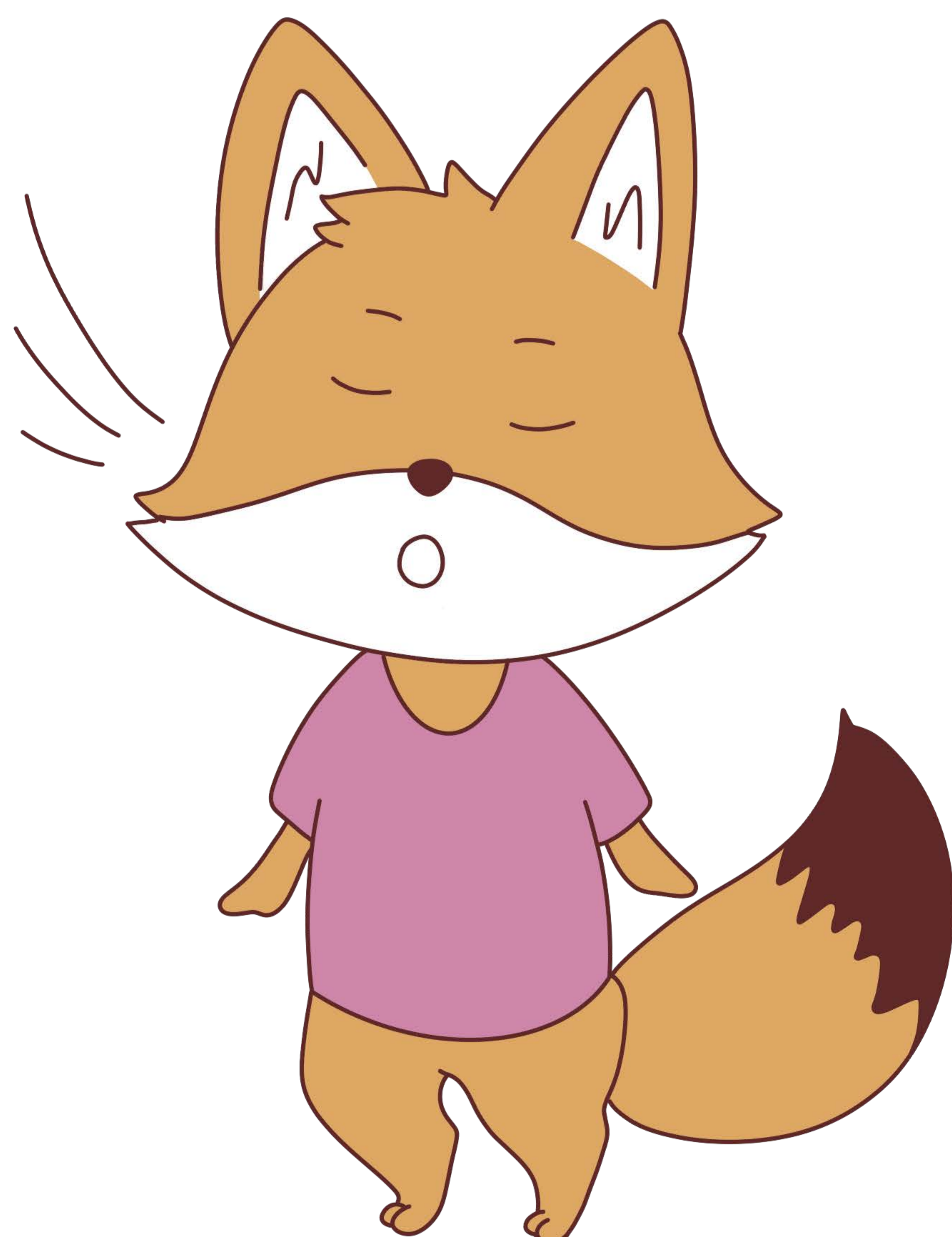
相手の気持ちで

言葉掛け

この句きよんだきっかけ

言葉に出す前にひと呼吸おいて相手の立場を考え発言することでアンコンシャスバイアスも減っていくかと思えます。

／ひとヨシ(呼)吸／



ペンネーム しげ3

特別賞

# お弁当 一緒に作ろう 共家事だ

この句きよんだきっかけ

私よりも料理が上手な夫。息子の保育園のお弁当も二人で協力して作る、もしくは、夫が作って私がその間息子を見ている、といふうになっています。お弁当はお母さんが作るものと決まっています。お弁当は協力的に、家事は協力したり、得意な方が担当したりして進めています。

ペンネーム さきよ

ふうに  
なると  
共家事  
すると  
いいね



特別賞

立ち止まり

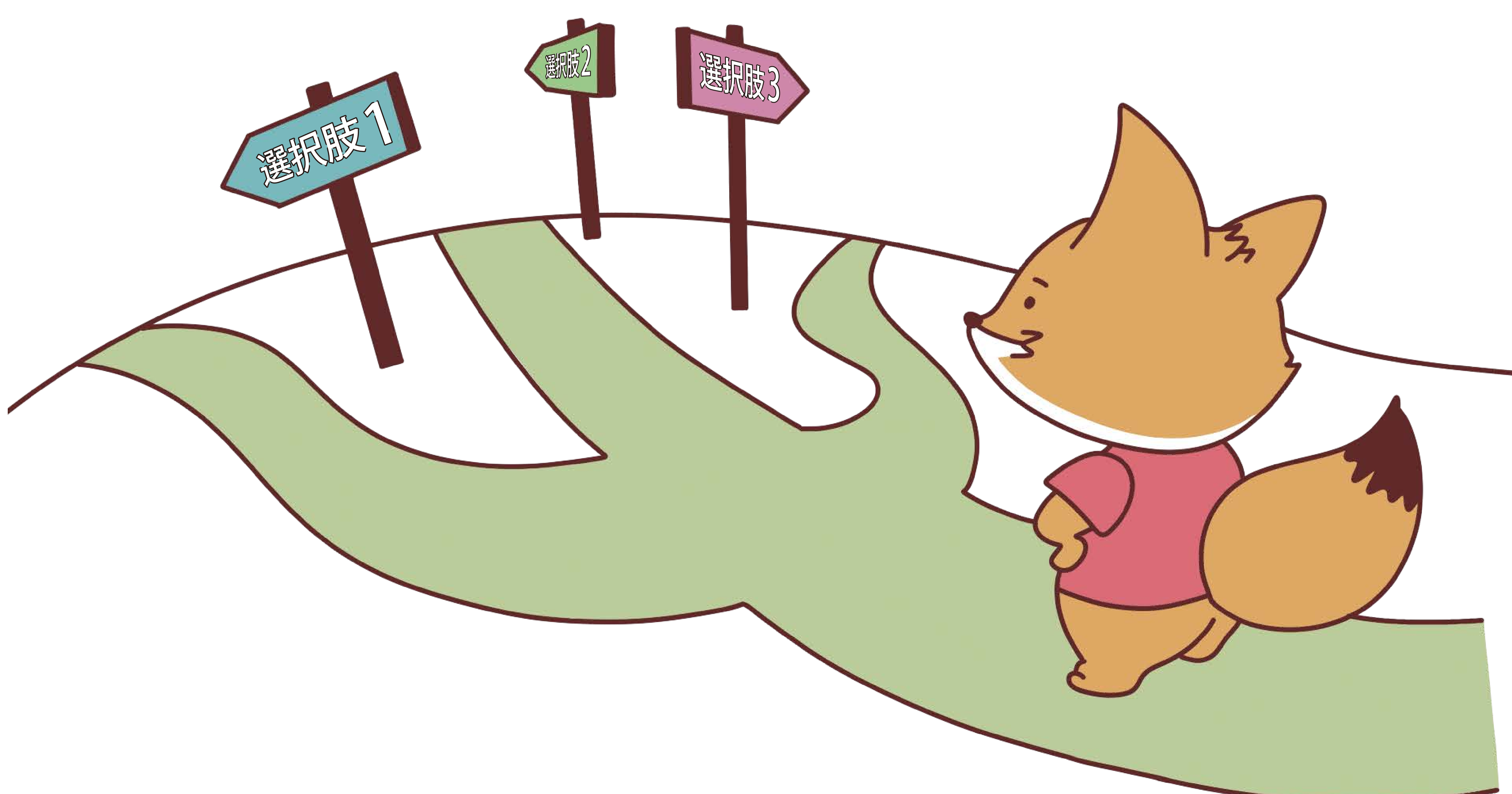
かつての常識

再確認

この句きよんだきっかけ

昭和40年代くらいまで「女の子は大学行かなくてもいいよ」と進路の選択肢は少ないし、ろくに情報さえ届かなかった時代があった。その時代を生きて来た者としては現在の若者の状況はまだまだ男女格差の見られる側面はあるけれど、うらやましく感じることもある。

ペンネーム ふくららくびじよみ



特別賞

逆ですよ

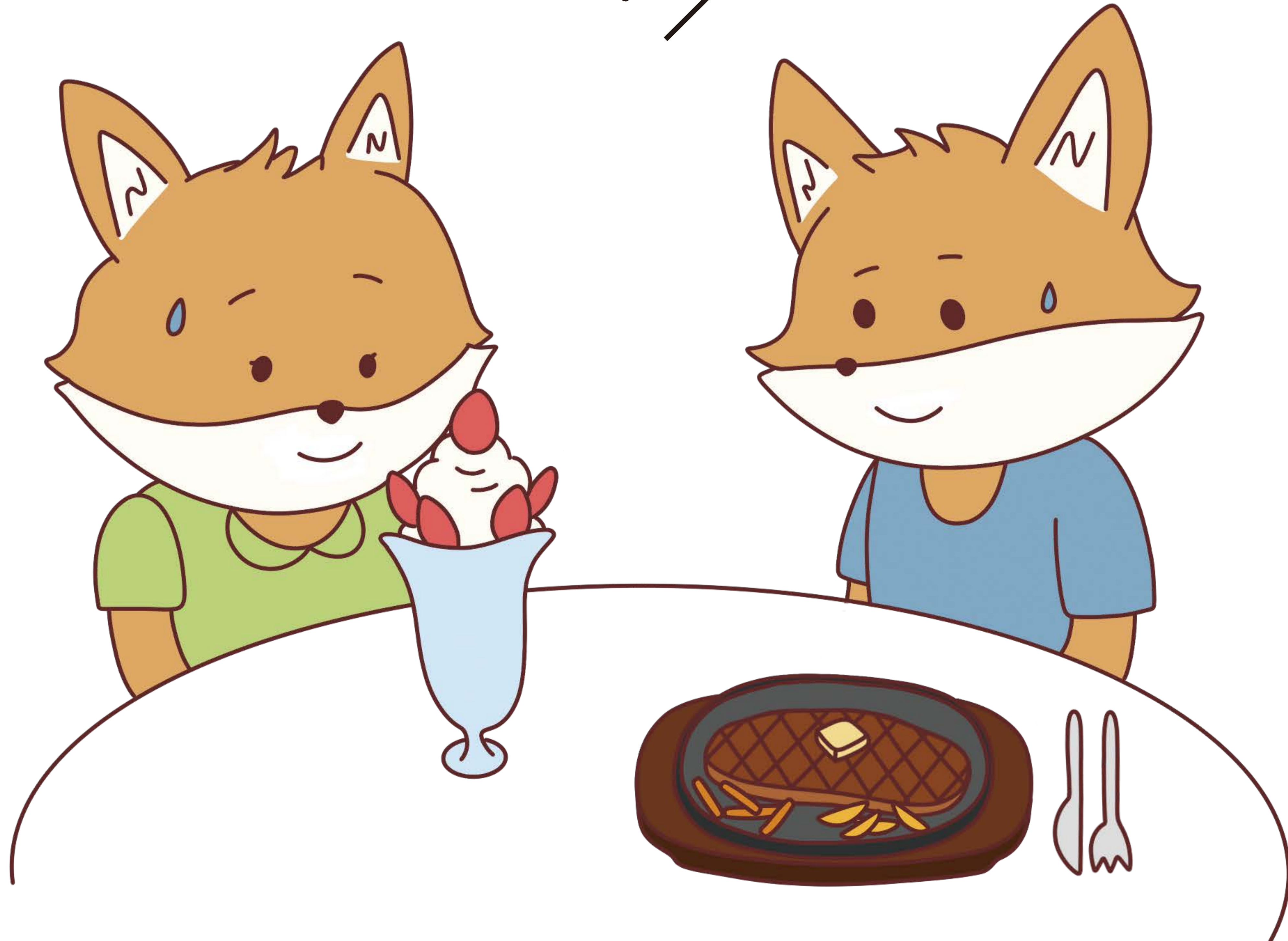
彼女がステーキ

僕がパフエ

この句をよんだきっかけ  
飲食店でメニューを注文したら、運ばれてきたときにガッツリしたものや酒は男性、ヘルシーなものや甘い物は女性の前に置かれがちというのは結構あるかなあと。  
私も実際体験したことがあります。

ペンネーム みかん

あれ…？





特別賞

# 町内会 なぜか女性は 後ろ側

この句きよんだきっかけ  
今でも町内会の集まりに行くと、自然に  
女性は後ろの方に座ります。女性自身が  
自分たちは目立たないように前に出ない  
ようにと思いつ込んでいます。

ペンネーム ちやちや



特別賞

皆んなそう？

「それが普通」は

思い込み

この句をよんだきっかけ  
母親やその世代の女性からは、若い頃仕事や家事育児に関する事については「これが普通やで。みんなそうやで。」と事あるごとに言われてきました。女性自身こそアンコンの魔法を解かなくてはいけないと感じます。

ペンネーム あんこクラブ

